



風評による偏見や差別について考えよう

風評って？

世間であれこれ取りざたすること。また、その内容。「うわさ」「世評」と説明することができます。



『風評被害』という言葉がありますが、“根も葉もないうわさにより、経済的な被害を受けること。関係のない人や物事に被害が及んだり、攻撃を受けてしまったりする状況”を言います。

この事と偏見や差別は関係があるのでしょうか。

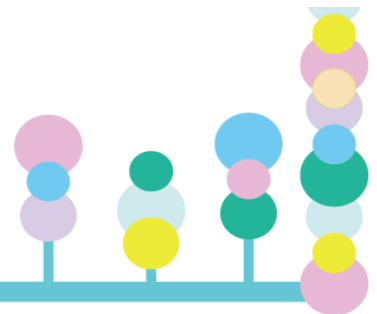
過去にありましたよね？

HIV・エイズ
(後天性免疫不全症候群)

ハンセン病

東日本大震災
(福島原発事故)

真実ではない『うわさ』がさまざまな方法で人から人へ伝わって国中に広がり、関係のある・なしにかかわらず、決めつけた見方をされたり、排除されたりする残念な事案が発生しました。尊厳を傷つけられた人の心は、簡単に癒されるものではありません。過去の過ちを繰り返さないために必要なこと…。



新型コロナウイルスも例外ではありません！

新型のコロナウィルスが国内外で流行してしまい、我が国も対応に追われています。さまざまところからもたらされる情報は日を追うごとに変化し、人々は不安感に襲われます。感染のリスクを避ける行動を取る事は、身を守るために必要です。

しかし、「感染者の住所を教えてください」と関係機関に問い合わせをしたり、「感染者との関係を勝手に想像して公共施設の出入りを拒否」したりすることは間違っていると思いませんか。

今後も同じような事案が発生する可能性があります。

ひとつの出来事から『人の心の弱さや醜さに気づき、自分本位な言動で他人を傷付けない』ことの大切さを学びたいものです。

